



安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療



静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和3年 秋 第67号



# あかり

A K A R I

- 新型コロナウイルス患者病棟への看護師派遣の体験について 1
- 市民公開講座「てんかんって何?」 3
- B1病棟「夏祭り」/B2病棟「アイスクリームの会」 4
- C1病棟「さつまいもの会」/C2病棟「うんどう会」 5
- A4病棟「USJ(漆山スタジオジャパン)へようこそ!!」 6
- 令和3年度 消防訓練について 6
- 外来再診の診療体制/医療連携室 7
- はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本 8

## 新型コロナウイルス患者病棟への 看護師派遣の体験について

C2病棟  
副看護師長  
丸山 有輔

7月の下旬から新型コロナウイルス(COVID-19)のデルタ株が猛威を振るい、8月中旬には日本国内の一日の新規感染者が2万人に達しました。毎日のように報じられる全国の新規感染者数や重症者数に驚きと恐怖を感じていました。その中でも東京都は全国の中でも突出しており一日当たりの新規感染者数が約4千~5千人発生している状況でした。このような状況の中、私は8月24日~9月30日まで東京都の国立病院機構の病院へ派遣という形で出向いたしました。全国の国立病院機構の病院から総勢23名の看護師が病院へ集結し、その中には、コロナ病棟での勤務経験がある者もお

りましたが、私のように経験したことがない者も半数いるような状況でした。新規の患者を受けるとに当たり、既存している病棟に数名ずつ応援として入るのではなく、派遣された23名の看護師が一丸となり閉鎖していた病棟の立ち上げからスタートしました。そのため、各病室やナースステーション、休憩室の必要物品の調達や位置決め、病棟でのルールを作るところから始めました。病院のスタッフにもご協力頂き、どうすれば患者に不利益が生じることなく、自分達が安全・安楽に仕事ができるのかを各々が意見を出し合い病棟を運営して参りました。

配属された病棟は、軽症から中等症までの患者で年齢も10代から90代の方まで年齢層が幅広く9月の上旬には、ほぼ満床に達しました。患者の中には日本語が全く分からない外国人の方もいたので、仲間のスタッフと「どういう聞き方やジェスチャーをすれば分かってくれるのかな」と相談し合い、使い慣れていない携帯型翻訳機に悪戦苦闘しながらも対応して参りました。外国人対応に関して、もっと真剣に英語を学んでおけばよかったと痛感させられる一例でした。実際に患者と接して感じたことは、新型コロナウイルスによる症状は多彩且つ程度も様々で、発熱だけの方もいれば、喉が痛くて会話も難しい方、頭痛や吐き気が強く食事摂れない方など、本当に色々な方がいらっしゃいました。また、多くの方は軽快されますが、呼吸状態が急に悪くなり転棟される方や亡くなる方もいらっしゃいました。ある日、喉が痛くて食事が摂れなかった患者に対して、ゼリーやおかゆといった喉越しの良い食事形態に変更したことで、「ありがとう、あの時は喉が切られているような痛さだった。あれ(食事変更)は本当に助かった。」と感謝された記憶がいつまでも残っています。また、印象的だったのは、私の夜勤時に入院することになった患者が病室に案内された後、自分で点滴の針を抜き、「帰る、早く帰らせて！」と大声を出し他のスタッフの静止を振り切って、病室を出ていこうとするところを発見しました。私はすぐに応援スタッフを呼び「とにかく一度落ち着こう」とゆっくり優しく何度も声を掛けると、少し落ち着いたのか患者は病室のドア付近でしゃがみ込んでしまいました。その後、小声で「私、死ぬんですか?」「私、死ぬんですよね?」と声を震わせながら話されました。私は、とにかく患者の話をしっかり聞こうと考え、約30分くらいだったでしょうか、一緒にしゃがみ込んで話を聞くことにしました。そして、「ここでしっかりと治療して元気になりましょう」「一緒に頑張ろう」と伝えると理解してくれたのか、その後は、同じようなことが起こること

はありませんでした。この患者と話しをして分かったことは、「新型コロナウイルス感染症は軽症でも急変して亡くなることがある」と聞いたことがあると思いますが、自分が実際に、この病気に掛かり、もしかして急変して死ぬかもしれないと感じた時の不安と恐怖は測り知れないものがあると感じました。私はこの方だけでなく多くの患者が同じ思いを抱いているのではないかと考え、患者の不安が軽減できるよう、患者の話はしっかりと傾聴するように努めました。実際に一つひとつの処置に対し、「これは何の薬ですか?」「いつまでやるのですか?」と質問する患者も多く、それに対し私は丁寧に対応して参りました。

患者は入院すると隔離生活となるため、病室の外にあるトイレ以外は部屋を出てはいけないう状況でした。こういった状況だと退院基準をまだ満たしていないにも関わらず「症状がないから早く帰りたい」と訴える方も多くおりました。主治医からどのような説明を受けており、どれくらい理解できているのか、不明な点は無いのかを確認し必要とあれば、再度主治医に説明を依頼するなど、患者の不安や不明な点についての解消を図っていきました。入院生活が長引けば長引くほどストレスが蓄積するのは当然であり、丁寧な対応や不安の軽減といった精神的サポートの介入が必要であると感じました。

今回の出向を受け、感染管理の面からも多くの知識や技術を得ることができ、今後病棟で活かしていきたいと考えておりますが、それと同等にコミュニケーションの大切さも実感しました。コミュニケーションは看護の基礎です。急変する可能性があるという情報もある中、今の病状や今後の治療のことなど患者が抱える不安に対してしっかりと向き合い、真摯に対応することが重要であると他のスタッフに伝えていきたいと考えております。

※本人は派遣業務終了後のPCR検査は陰性であり、帰院後14日間は業務を行わず宿泊施設にて待機のうえ業務復帰しております。

参加無料 先着 45 名 事前申込制

静岡県てんかん地域診療体制整備事業 市民公開講座

# てんかんって何？

てんかんは100人に1人がかかると言われており、身近な病気です。  
てんかんという病気をわかりやすくお話し、実演を通して介助方法を説明します。

**2021年12月19日**  **13:30～16:30(13:00開場)****会場**

清水テルサ 6F研修室(大)

静岡市東部勤労者福祉センター (JR清水駅下車、みなと口より徒歩約5分)

**講 演****第1部** てんかんとはどのような病気か

静岡てんかん・神経医療センター 脳神経内科医師 荒木 保清

**第2部** てんかん発作の介助の実演

静岡てんかん・神経医療センター 院内認定てんかん看護師

青柳 政彦／小島 早織

※講演終了後に個別相談会を予定しています。

**参加申込**

先着順のため事前申込が必要です。(静岡県外の方はご参加頂けません。)

当院ホームページに申込書を掲載しますので、そちらをご利用下さい。

新型コロナウイルス感染症の流行状況等により、やむを得ず急遽中止となる場合があることをご了承下さい。

**参加希望の方へのお願い**

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者の方には、当日の会場でのマスク着用・体温測定・手指消毒・体調チェック等の感染対策を徹底させて頂きますので、ご協力をよろしくお願い致します。

当日、下記①～⑤の一つにでも該当する方はご参加頂けませんので予め来場をご遠慮下さい。

- ① 37.5℃以上の発熱など感冒症状(咳・鼻汁・鼻閉)がある。
- ② 呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、目の痛み、充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔吐・嘔気症状がみられる。
- ③ 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症の感染が疑われている。
- ④ 過去14日間以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。
- ⑤ 過去14日間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある。

**【お問い合わせ】****【受付窓口】静岡てんかん・神経医療センター医事課 TEL・054-245-5446**

共催：静岡てんかん・神経医療センター(静岡県てんかん診療拠点機関) 公益社団法人日本てんかん協会静岡県支部

# B1 病棟

## 夏祭り

B1病棟では、8月に夏祭りを行いました。浴衣や甚兵衛を着て、太鼓や盆踊り、スイカ割をしました。自分で選んだ浴衣を着て笑顔になる方や、太鼓の大きな音を聞いてびっくりする方、おいしそうにスイカを食べる方等様々でした。感染対策のため全員での参加はできませんでしたが、2グルー



プに分け少人数で実施したことで、スタッフが患者さん1人に対しゆっくり関わる時間を設けることができました。またそれぞれの患者さんの様子をしっかりと見て関わることで、スタッフの笑顔も多く見られ盛り

上がって実施することができました。以前のようにみんなで集まって行事を行うことが難しい状況ですが、できるだけ楽しい雰囲気の中生活していただけるよう、スタッフ全員で協力しながら病棟を盛り



療育指導室 小池 菜生



# コロナに負けず、

# B2 病棟

## アイスクリームの会

B2病棟では、9月6～10日にアイスクリームの会を実施しました。各日の参加人数を10名程度に、5日間かけて開催すること

で、デイルームに出る患者さん同士の間隔を十分あけ密を避けて活動できるようにしました。活動場面では、スタッフが店員役、患者さんはお客さん役となって、カフェのように「メニューは何になさいますか?」「オーダーしました!」等のやりとりを楽しみました。そして何よりいつもと違う特別なおやつに表情が明るくなった皆さん。アイスクリームをあっという間に召し上がる姿から、「おいしい!」という気持ちが伝わってきました。

ドリンクにはドリップパックやティーパックを使ったコーヒーや紅茶を用意して香りを楽しめるようにしました。今後も楽しく、且つ安全に活動を展開できる方法を考え、制限的な状況の中でもいろいろな体験ができるよう取り組んでいきたいと思



療育指導室 大石 夏子



C1  
病棟

## さつまいもの会

まだ残暑厳しい9月下旬、C1病棟では「さつまいもの会」を行いました。畑で獲れたさつまいもを栄養管理室掲載の方々にペースト状にしていただき、絞り袋に入れてスタッフと一緒にぎゅ〜と握って絞り体験をしました。自分で絞ったさつまいもに、アイスとだいがく芋のソースをかけて…ひんやりいもきんとんの出来上がり！「おいしい！」と今にも心の声が聞こえてくるように、患者さんは目を大きく開けたり、声を出したり、笑ったりとそれぞれの「おいしい」の気持ちを表現されていました。

コロナ禍で小グループ単位での実施ではありますが、スタッフ同士で協力しあい、患者さん全員に参加していただけるよう行事の計画・運営を行っています。今後もC1病棟は、コロナ禍であっても、皆でワイワイ楽しく行事らしい雰囲気を感じていただけるように、工夫をこらして実施していきます。



療育指導室 永川 千夏

## 頑張っています!!

C2  
病棟

## うんどう会

C2病棟では、9月30日にうんどう会を行いました。前日よりうんどう会に向け、組ごとに旗を作ったり、競技であるリレーの練習をしたりと、当日に期待を持ち過ごすことができました。そして当日は、広いウッドデッキを十分に使い、密にならないよう開催することができました。

全員で体操をしたり、競技では大玉転がしやパン食いリレー競争をしたりと、久しぶりの行事の賑やかな雰囲気に嬉しそうにされている患者様が多く、患者様の楽しそうな様子に職員一同もあたたかい気持ちになりました。コロナ禍で、前より閉鎖的な日々になってしまったことはありますが、こうして患者様の楽しめる様子や、患者様にとっての楽しみの1つになったことを大変嬉しく思います。



療育指導室 相川 萌子

# A4 病棟

## USJ(漆山スタジオジャパン)へようこそ!!

### A4病棟夏祭り

8月30日 夏の暑さも和らいで

きた頃、A4病棟では夏祭りが開催されました。

今年の夏祭りも感染症対策の為、少人数のグループに分かれて実施をしました。今回はUSJ(漆山スタジオジャパン)と題して、様々なアトラクションを用意しました。また、来てくれた皆にプレゼントを用意しました。案内係がプレゼントの入った宝箱を開けると…『デザートはいただいた!返して欲しければアジトをみつけてみる…怪盗ミニオンズ』何だって~!?怪盗ミニオンズがみんなにあげようと思っ

たデザートを盗んでいってしまったみたいだ。みんなでデザートを取り返すぞ!おー!参加したアトラクションでは、険しいガタガタ道を通ったり、コインすくいを行いました。また、シューティングでは、なかなか倒れない敵に何度もボールを転がしました。そういえば、フォトコーナーには隠れきれていないミニオンもいましたね。みんなで力を合わせたことで地図のかけらを集め、アジトの地図を完成させることができました。短い時間の中でしたが、楽しく参加することができました。また、USJに遊びに来てね!



療育指導室 杉村 綾香

## 令和3年度 消防訓練について

令和3年8月31日(火)に新採用者、転入者を対象に消防訓練を実施しました。

訓練の内容としては地震防災対応マニュアルの説明、避難ルートの確認、水消火器を使用した消火訓練と消火器の位置確認、防犯スプレーや刺股を用いた防犯訓練、中央監視室に設置している自動火災報知設備・火災通報設備について点検を行いました。

地震防災対応マニュアルの講義では、災害時

の活動基本フローチャートや平常時・災害時の準備態勢などの説明を受けていただきました。避難ルートの確認では、実際に職員にルートを通行してもらいました。水消火器による放水訓練及び防犯スプレーや刺

股訓練では、的に向かって放水やスプレー、刺股の体験をしていただき不測の事態でも咄嗟に行動できるように備えていただくことを訓練しました。中央監視室における火災総合操作盤等の設備取扱説明では、保守業者より操作方法の説明を受け、火災が起きた場合においてどのような行動をすることが必要であるかを学んでいただきました。

今後も、災害はいつ発生するかわかりませんので、職員1人1人が災害発生時においても臨機応変に対応していけるよう訓練を継続して取り組んで参ります。



庶務班長 池上 浩明

診 療 体 制

てんかん科		午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30									
診察室	曜日	初 診					再 診				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室								山崎	川口	山崎	白井
第2診察室						荒木 保清	徳 本	池田 <small>午前のみ</small> 仁	荒 木	大 松	
第3診察室			今井 克美		白井 直敬	今井 克美	今 井				
第4診察室									日 吉 (代診)		川 口
第5診察室							池 田 仁	池 田 浩	池 田 浩	寺田清 (代診) <small>※第4週はなし</small>	
第6診察室							芳 村			芳 村	松 平
第7診察室				山口 解冬				荒 木			山 口
第8診察室	高橋 幸利				高橋 幸利			西 田	高 橋		近 藤
第9診察室			川口 典彦	芳村 勝城			重 松			大 谷	大 谷
第12診察室	西田 拓司			松平 敬史	池田 仁	山崎 悦子					

脳神経内科		初診				
診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前	杉浦	杉浦			山崎
	午後	杉浦 明		寺田 達弘		山崎 公也 尾内 <small>第4週</small>
第13診察室	午前			高嶋		

特殊外来		月・水	小尾 智一
認知症疾患医療センター		金	山崎 公也
		適宜	高橋 幸利 小尾 智一
遺伝カウンセリング外来		適宜	高橋 幸利 小尾 智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054-246-4580

F A X ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司      松下 剛      横山 由香  
矢嶋 隆宏      佐倉 裕二      葛城 裕幸  
田中佐代子      高橋 輝      長田 英喜  
福島 啓介

発行 ■ 令和3年11月30日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

## はじめて当院を受診される方へ

### ◆ 診察は予約制になっています ◆

#### 1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)  
 その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

#### 2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

#### 3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

#### 4 セカンドオピニオンについて

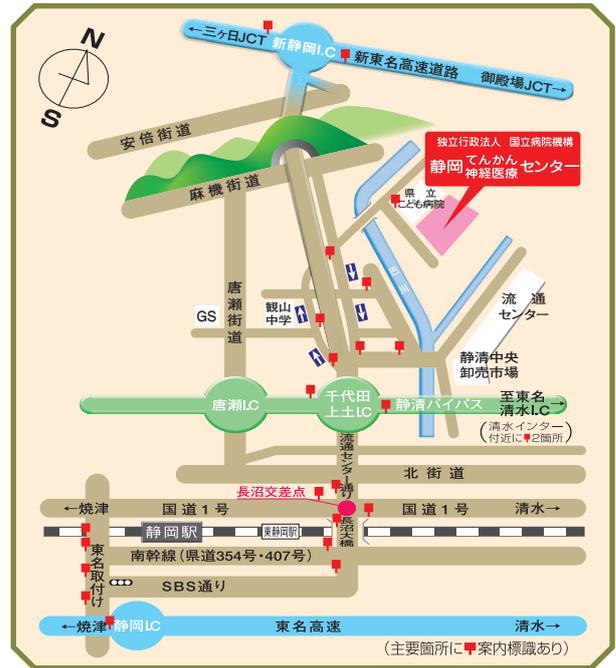
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

#### 5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

## 当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	● 東京方面から ● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
	● 名古屋方面から ● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



## 本

### ● 抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

### ● てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～

【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

### ● 新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

### ● プライマリ・ケアのための

### 新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

## てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)